

野洲駅南口周辺整備構想 “つながり”と“にぎわい”のまちづくり

市民懇談会

野洲市政策調整部企画調整課地域戦略室
(587-6141)

説明内容

1. これまでの検討経緯
2. 野洲駅南口周辺整備の対象区域
3. 上位関連計画との整合
4. 野洲市の概況
5. 野洲駅南口周辺整備構想のコンセプト
6. 機能の配置
7. 整備スケジュール
8. 概算事業費
9. 整備構想の実現に向けた留意事項
10. 野洲駅南口周辺整備構想(案)の概要

1. これまでの検討経緯①

平成22年
10月

アサヒビール(株)より駅前所有地
(約9,300㎡)の買取り打診

- ・ 公開による内部検討会議
- ・ 市民懇談会
- ・ 議会での議決

平成23年
10月

『**市民活動拠点施設用地**』として買取り表明
※市民が憩えて安心できる市民生活の拠点

平成24年
2月

野洲市へ所有権移転、土地の引渡し

4月

野洲駅南口周辺整備構想検討開始

野洲駅南口周辺整備構想検討委員会報告

平成25年
6月

『**心と体の健康をテーマに
人と人がつながることで生まれるにぎわいづくり**』
6つの機能：市民広場、病院、交流施設、図書館分室、アリーナ、商業サービス
キーワード：「成長する駅前」
約20年後を将来像として見据え、段階的な整備を実施

1. これまでの検討経緯②

平成25年
10月

滋賀県立大学・立命館大学・野洲市による共同研究

『**市民の思い**』×『**専門的ノウハウ**』
⇒**機能概要（施設規模）、配置、動線を具体化**

市民活動団体アンケート

世代別ヒアリング（若年層、子育て世代、高齢者）

市民ワークショップ

平成26年
6月

野洲駅南口周辺整備構想提案発表会

J A おうみ富士に対して配置提案



10月

J A おうみ富士からの回答

⇒ 対象区域を市有地に限定して配置を検討

野洲駅南口周辺整備構想 市民懇談会

12月

野洲駅南口周辺整備構想策定（予定）

⇒ 順次、基本計画等を策定し継続したまちづくりを進める

2. 野洲駅南口周辺整備の対象区域



3. 上位関連計画との整合①

● 第1次野洲市総合計画（平成24年4月改訂）

←行政運営やまちづくりの総合的な指針

<めざすべき都市像>

豊かな自然と歴史に恵まれた にぎわいとやすらぎのあるまち
～みんなが住みたい、住み続けたいと実感できるまちづくり～

<野洲駅周辺の整備方針>

にぎわいと活力にあふれた地域

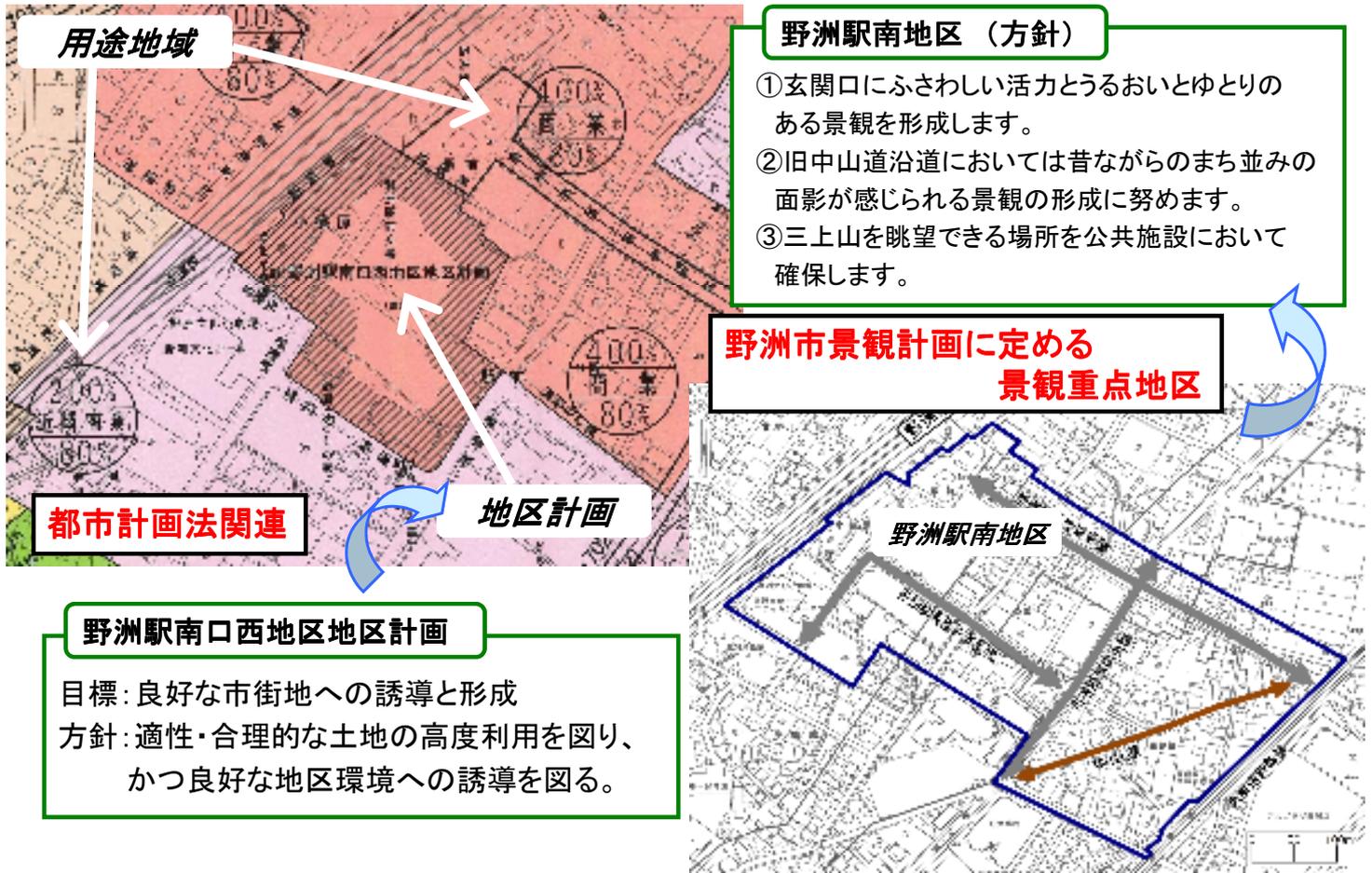
行政機能、居住機能、商業機能、文化・交流機能の充実
市の魅力が発信される中心地として整備

● 野洲市都市計画マスタープラン（平成25年4月改訂） ←都市計画に関する基本的な指針

<土地利用方針>

- ⇒都市機能の整備、集積
- ⇒地域生活の利便性向上に資する商業機能の充実
- ⇒周辺の景観、日照等に配慮した高度利用

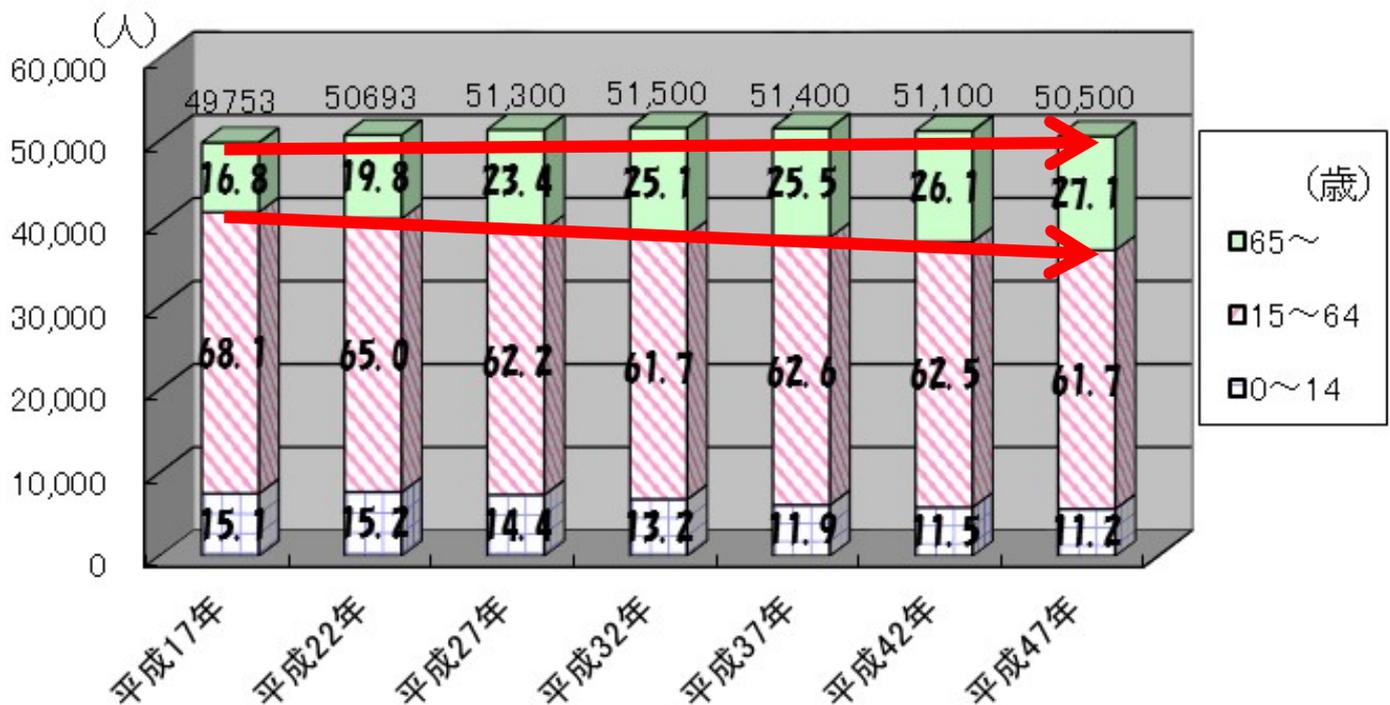
3. 上位関連計画との整合②



4. 野洲市の概況①

野洲市における人口推移（社会増減有）

⇒総人口はほぼ横ばいで推移
⇒一方で、高齢人口は増加

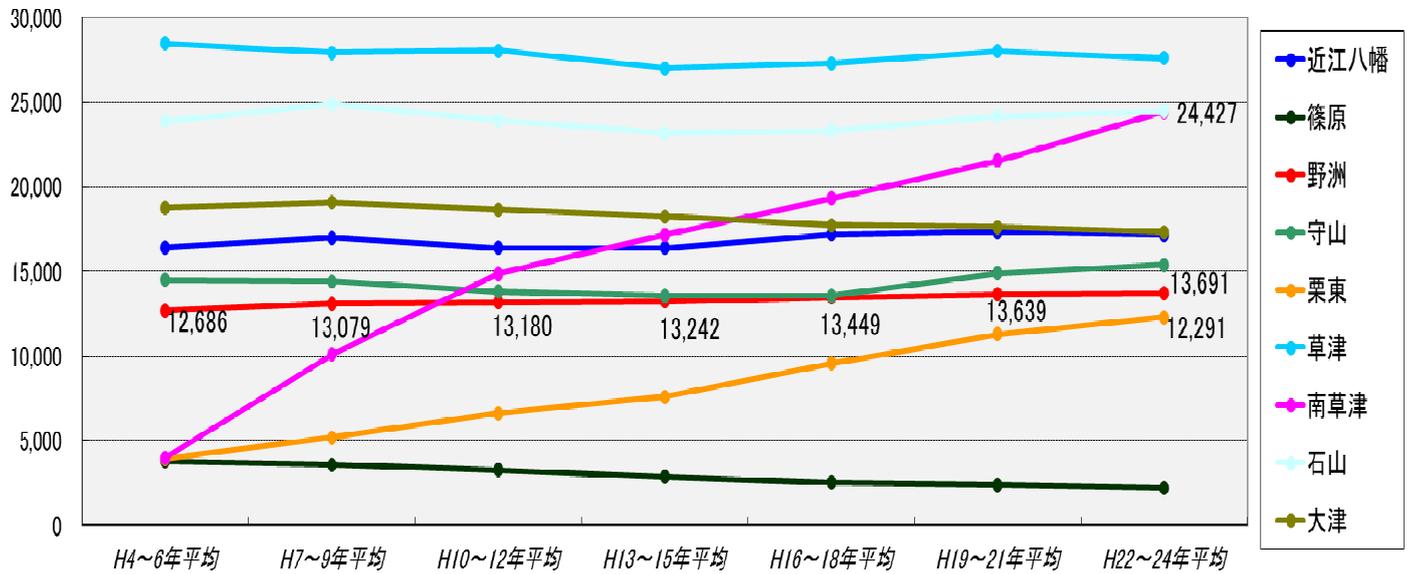


4. 野洲市の概況②

JR西日本びわこ線の近隣駅の一日平均旅客乗車人員数

⇒野洲駅：微増傾向

平成24年度 13,675人/日

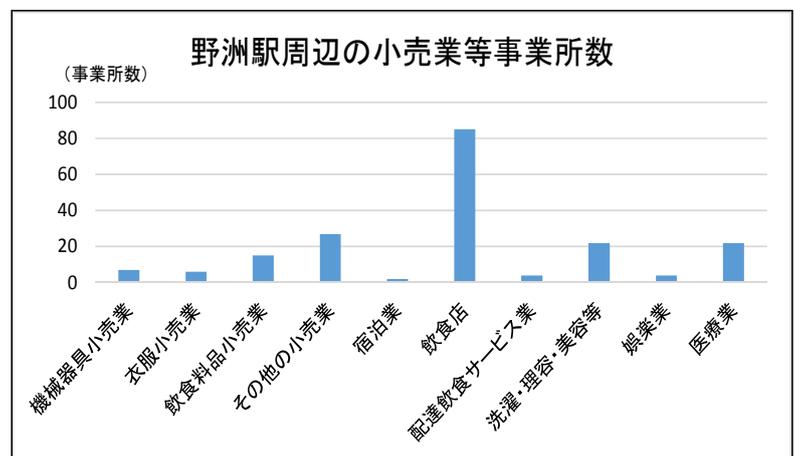
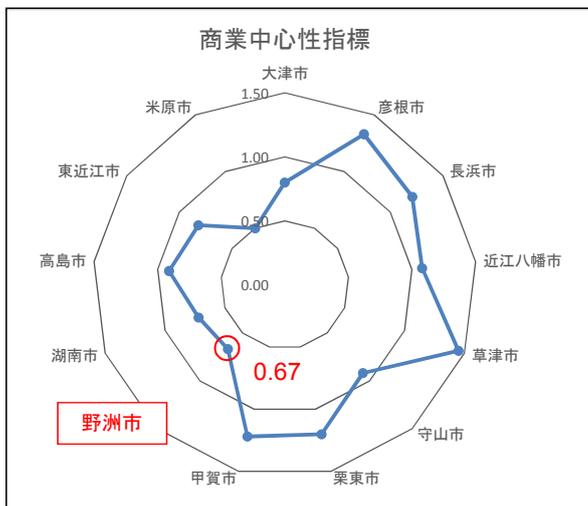


滋賀県統計書(H4~24年度)から作成

4. 野洲市の概況③

野洲市の商業の特徴

- ・市民の多くが、市外で買い物をしている。
- ・商店数(卸売業を含む)が年々減少している。
- ・野洲駅周辺の小売業態・店舗は多様化しており、その中でも飲食店の割合が多いが、昼間に子ども連れで入れるような飲食店は少ない。

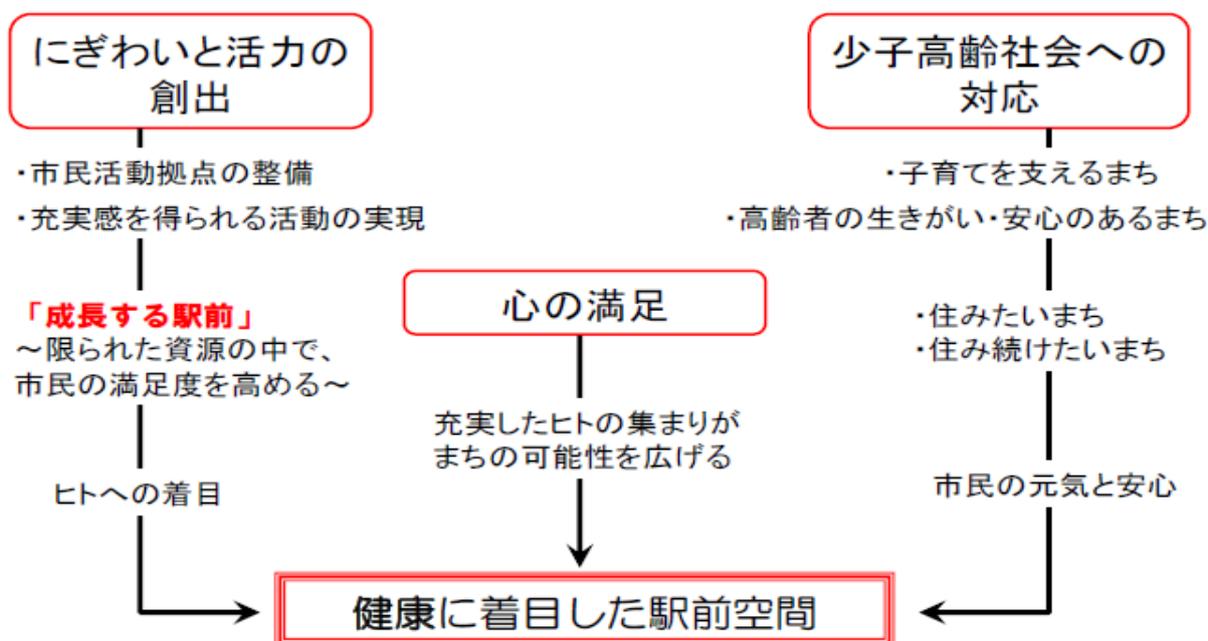


「平成24年経済センサス」データから作成
 商業中心性指標：市内における消費活動の指標
 県内一人当たり商業消費額に対する各市平均の比率
 1超過：市外から消費が流入
 1未満：市外へ消費が流出

※野洲駅から半径500m圏内の小売業等
 平成24年2月現在

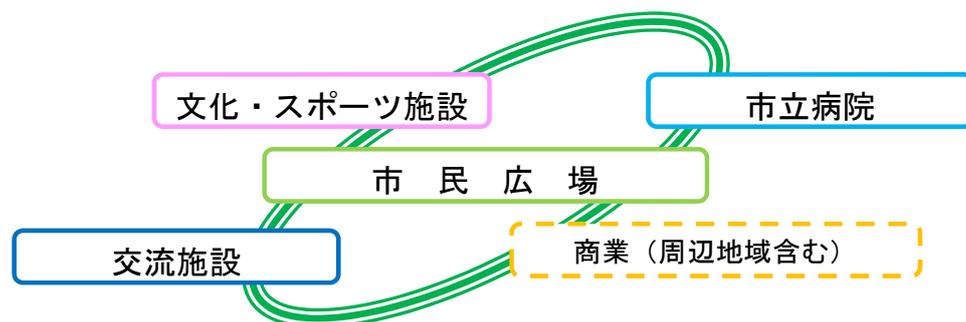
5. 野洲駅南口周辺整備のコンセプト

心と体の健康をテーマに
人と人がつながることで生まれるにぎわいづくり



6. 機能の配置①

市民ワークショップで積み上げてきた機能配置の考え方
「市民広場を中心とした駅前まちづくり」を尊重

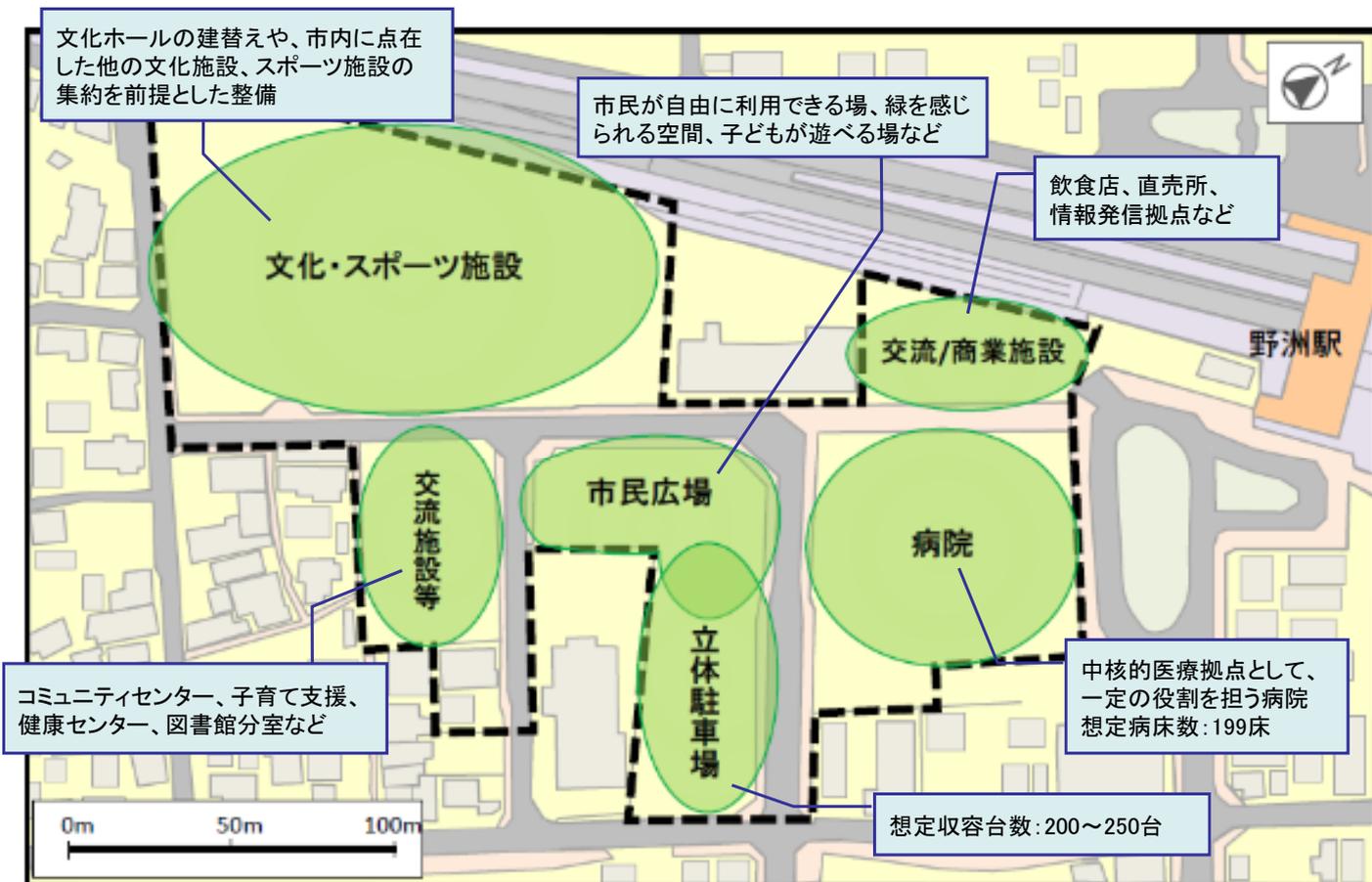


(市民広場を中心とした各機能の連携イメージ図)

【機能配置を考える上のポイント】

- ・既存施設の耐用年数等を考慮した段階的な整備
- ・良好な景観の形成と三上山を眺望できる場所の確保
- ・安全で円滑な動線の確保

6. 機能の配置③



7. 整備スケジュール①

既存施設の耐用年数等

	H31	H36	H41	H46	H51	H56	H61
野洲幼稚園	◆ PFI契約終了		●	※一部増築分の耐用年数は、平成63年まで			
文化ホール	●						
コミュニティセンターやす	●						
文化小劇場	●						
野洲第1～6こどもの家	◆ 償還満了						●
総合体育館	● 大規模改修(想定)		◆ 国民体育大会	●			
さざなみホール	●						

● : 耐用年数

7. 整備スケジュール②

	前期						中・後期	
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	7年目～20年目	
病院	■							
立体駐車場	■							
交流/商業施設	■							
交流施設							■	
文化・スポーツ施設							■	
市民広場				■	■	■		■

第1次野洲市総合計画の計画期間



【前期】

…優先度の高い病院と立体駐車場を中心に整備

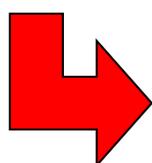
【中・後期】

…既存施設の耐用年数等を考慮して整備

8. 概算事業費

施設の概算事業費

	敷地面積	概算事業費	利用の具体例
市民広場	1,800㎡～ 2,000㎡	約0.4億円	市民が自由に利用できる場、緑を感じられる空間、子どもの遊び場、フリーマーケット、青空市等
病院	5,500㎡	約57.0億円	想定病床数：199床 ※中核的医療拠点として、一定の役割を担う病院
交流/商業施設 (駅舎側)	2,000㎡	約2.1億円	店舗(飲食店、直売所等)、情報発信拠点(企業、市民活動、学生、市)等
交流施設等 (市民広場側)	2,600㎡	約7.4億円	コミセン(研修室、調理室、多目的室等)、健康センター(健診室、健康相談等)、子育て支援、図書館分室等
文化・スポーツ施設	11,000㎡	(未定)	アリーナ、ホール、トレーニング室等 ※既存施設の集約を前提
立体駐車場	2,600㎡～ 2,800㎡	約5.4億円	想定収容台数：200～250台



【事業費の捻出】

- 国庫補助の活用
- 民間活力の導入検討
- 類似施設の統廃合等を含む効率的な維持運営の検討

9. 整備構想の実現に向けた留意事項

- ① 実現性、持続性に着目した柔軟な取り組み
 - ・ 適切な規模を踏まえた機能の具体化
 - ・ にぎわいづくりの推進手法の検討
 - ・ 事業費の捻出
- ② 誰もが利用しやすい空間整備
 - ・ 安全で円滑な動線の確保
 - ・ うるおいとゆとりのある景観の形成
 - ・ 公共交通網の充実
- ③ 安全安心のまちづくり
 - ・ 防災時の活用
 - ・ 環境への配慮

10. 野洲駅南口周辺整備構想（案）の概要

1. はじめに	
(1) 構想策定の背景	・ 駅前民有地の買い取り等の経緯等を記載
(2) 構想の位置づけ	・ 約20年後を将来像に見据えた構想であることを記載
(3) 構想の対象区域	・ 構想の対象区域図を記載
2. 構想策定にあたっての基本事項	
(1) 上位関連計画との整合	・ 総合計画や都市計画マスタープランとの整合を記載
(2) 地域の概要	・ 市の人口推移や野洲駅の利用者数等を記載
(3) 対象区域の概要	・ 土地利用の現況、既存施設の概要、都市計画法に関連する状況等を記載
3. 野洲駅南口周辺における課題	
(1) 野洲駅南口周辺における課題	・ 検討委員会で整理された課題を記載
4. 野洲駅南口周辺整備の基本的な考え方	
(1) コンセプト	・ 検討委員会で整理されたコンセプトとその考え方を記載
(2) 必要な機能	・ 検討委員会で整理された6つの機能及び立体駐車場について記載
(3) 機能の配置	・ 市民広場を中心とした機能配置の考え方と配置図を記載
5. 構想の実現に向けて	
(1) 実現に向けた留意事項	・ 長期に渡る構想であるため、社会状況等に応じて、柔軟に対応していくこと等を明記
(2) 概算事業費	・ 同等規模の類似施設の整備事例を精査して積算
(3) 整備スケジュール(案)	・ 長期的な整備スケジュールを記載

意見交換のテーマ

• どんな交流/商業施設が良いか？

【これまでに出されたイメージ】

- ・飲食店(ランチレストラン、キッズカフェ等)
- ・理美容院、エステ、化粧品等
- ・農産物直売所
- ・ビジネスホテル
- ・コンビニエンスストア
- ・情報発信(企業、市民活動、学生、市) など

• どんな文化・スポーツ施設が良いか？

【これまでに出されたイメージ】

- ・多目的に利用できる屋内空間(アリーナ)
- ・文化やスポーツ、イベントなどに利用できる場
- ・市民が一同に会することができる場 など

意見交換のテーマ

• どんな交流施設が良いか？

【これまでに出されたイメージ】

- ・コミセン(研修室、調理室、多目的室等)
- ・健康センター(健診室、健康相談室等)
- ・子育て支援
- ・図書館分室 など

• どんな市民広場が良いか？

【これまでに出されたイメージ】

- ・市民が自由に利用できる場
- ・緑を感じられる空間
- ・子どもの遊び場
- ・フリーマーケット、青空市 など

機能のイメージ（事例）①

立川市子ども未来センター及び市民会館（東京都立川市）

（子育て支援施設、コミュニティセンター、ブックカフェ、行政窓口、広場など）



ブックカフェ



広場と繋がるテラス



子育てひろば

機能のイメージ（事例）②

南医療生活協同組合 総合病院 南生協病院（名古屋市緑区）

（病院、保育施設、カフェ・レストラン、多世代交流施設、雑貨店、フィットネスクラブなど）



店舗に面した動線



玄関広場



エントランス

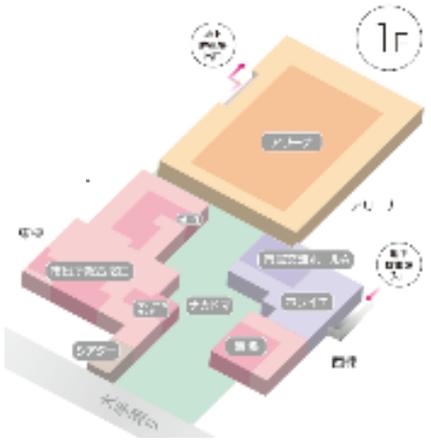


自然酵母ベーカリー

機能のイメージ（事例）③

アオーレ長岡（新潟県長岡市）

（アリーナ、ホール、屋根つき広場、市民活動施設、市役所、議場、コンビニなど）



アリーナ面積：2,123㎡ 固定席：2,172席 可動席等：1,396席



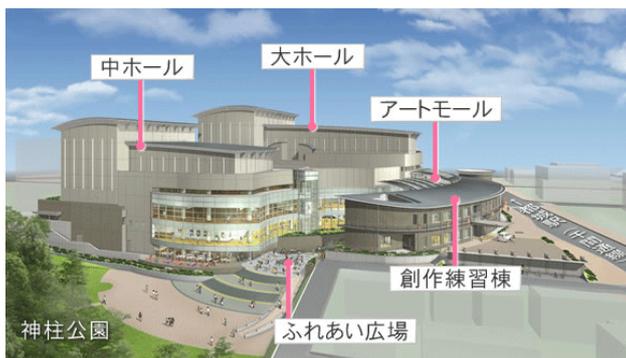
屋根つき広場：2,250㎡

ホール：228席

機能のイメージ（事例）④

都城市総合文化ホール（宮崎県都城市）

（ホール、スタジオ、ギャラリー、カフェ、レストラン、広場など）



アートモール
（屋根つき交流スペース）



ホール
（大ホール：1,461席、中ホール：682席）

ギャラリー

レストラン

参考①

近隣の主なホール

(単位:席)



	施設名(ホール)	ホール1 (席)	ホール2 (席)	ホール3 (席)
1	野洲文化ホール	1,075	110	-
	野洲文化小劇場	300	-	-
2	野洲市豊積の里総合センター (さざなみホール)	497	-	-
3	守山市民文化会館 (守山市民ホール)	1,318	300	-
4	栗東芸術文化会館さくら	810	406	-
5	しが県民芸術創造館	801	-	-
6	草津アマカホール	306	-	-
7	ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター	426	-	-
8	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール (びわ湖ホール)	1,848	810	323
9	大津市生涯学習センター	500	-	-
10	大津市北部地域文化センター	500	-	-
11	大津市和邇文化センター	497	-	-
12	大津市民会館	1,300	200	-

※丸印の大きさは、ホールの規模の違いを示す。

参考②

近隣の主な体育館

(単位:㎡、席)



	施設名(体育館)	フロア面積 (㎡)	バスケット ポールコート	固定席 (席)	移動席 (席)
1	野洲市総合体育館	1,966	3面	1,216	970
2	守山市民体育館	1,512	2面	1,000	2,000
3	草津市立総合体育館	2,117	2面	770	448
4	滋賀県立体育館	1,890	2面	1,896	3,000

※体育館機能のみを有する小規模な施設は除く。